

石巻専修大学

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

「石巻専修大学」ホームページ http://www.isenshu-u.ac.jp

しめやかに東日本大震災追悼式

石巻専修大学・石巻専修大学育友会

学生ら16人の冥福祈る

晴天に恵まれた6月19日、森口記念館を会場に「石巻専修大学・石巻専修大学育友会 東日本大震災合同追悼式」がしめやかに執り行われた。学生のご遺族6人、坂田隆学長、日高義博理事長、大河原博育友会長、伊東孝浩同窓会長、大木章央学生会長らをはじめ、育友会員、学生、教職員合わせて約150人が列席。震災で尊い命を奪われた学生7人(新入学予定学生1人を含む)、育友会員8人、同窓会員1人の計16人の冥福を祈った。



▲ 合同追悼式が営まれた森口記念館

式辞で坂田学長は「さまざまな将来を夢見て大学生生活を過ごしていた若者たちや、優しい大学生生活を間近に控えた若者がなんの予告もなく生涯を閉じざるを得なかった無念さを感じるやうな切れないものがあります。私たち教職員は、いつでも学生諸君の話し相手になります。在学中はもちろん、卒業してからも、つらいときにも、うれしいときにも大学に話に来てください」と、亡くなった16人に哀悼の意を送った。



▲ 冥福を祈り献花する参列者

また、ご遺族に対する支援を述べた後、「本学では被災地とともに復興を進める『復興共生プロジェクト』に取り組み始めています。亡くなられた皆さん、どうか私たちの努力を見守ってください」と被災地大学として復興活動の推進を誓った。

基礎理学科2年次生対象に

「野外植物学実習」



▲ 植物観察の様子

基礎理学科2年次生を「野外植物学実習Ⅰ」の野外対象とした選択科目「野実習」が6月12日、青葉山(仙台市青葉区)と太白山自然観察の森(同市太白区)で行われた。この実習は植物の生活の場を観察し、植生帯の違いによる構成種の違いなどを学ぶことが目的。学生たちは、根本智行教授と依田清胤准教授の指導を受け、モミの自然林の力強さに触れたり、植物の花の構造をルーペで観察したりして、充実した時間を過ごした。

山内理工学部 准教授の共同研究 日本登山医学会 奨励賞を受賞

理工学部の山内武臣准教授が他大学の研究者ら7人と共同で「高所環境下のアルドステロン分泌調節」に関する研究論文を発表。6月11、12の両日、東京・代田博ゼミナールに、学生の就学支援を目的とした義援金(20万1000円)が寄せられた。杉田専修大学経営学部の加藤教授は1993年専修大学卒業で、加藤ゼミに所属していた。

就職を中心に現状報告、個別面談開く

育友会定期総会・支部懇談会

育友会定期総会と支部懇談会が6月19日、合同追悼式の後、本学で行われた。定期総会では2011年度役員、事業計画をおよび予算をいずれも承認。支部懇談会では学生の就職活動に関する現状報告や、保護者との個別面談が行われた。支部懇談会には約30人の保護者が出席。大学側からは、現時点で企業に内定している学生が、就職希望者のうち15%にとどまっているという、きわめて厳しい現状が伝えられた。宮城などについて説明を受けた後、被災地を視察。その後、本学に移動し、共同研究センター長の相馬弘年理工学部教授から、被災者1000人以上を受け入れた本学の震災への対応と、これからの役割の在り方などについて意見交換が行われた。

米・韓・台の防災研究者 迎え石巻市内を視察調査

重川希志客員教授の案内で、米、韓、台湾の防災研究者33人を迎え、今回の震災で大きな被害を受けた石巻市内の視察調査に訪れた。一行は、石巻市役所で被害の概要と復興計画案などについて説明を受けた後、被災地を視察。その後、本学に移動し、共同研究センター長の相馬弘年理工学部教授から、被災者1000人以上を受け入れた本学の震災への対応と、これからの役割の在り方などについて意見交換が行われた。



山内理工学部 准教授の共同研究 日本登山医学会 奨励賞を受賞



李ゼミが被災企業支援

李東勲経営学部准教授のゼミ生30人が被災した地域企業の支援活動に取り組んでいる。6月24日から26日まで、東京都品川区のTOCビルで行われた「得市・震災復興チャリティーバザー」で、(株)木の屋石巻水産の缶詰を紹介し、商品PRに役立った。マーケティングを学ぶ15人の学生が参加して

チャリティーバザーで商品PRに一役



▲ あいさつする大河原育友会会長

同ゼミでは、石巻市中心的に「ほいぶす」を運営。今回は商品提供などで協力した同社の復旧復興に協力した。学生たちは社員とともに全壊した倉庫から、商品を掘り出す作業から取りかかり、会場に張り出すポスターの作成などを担当。バザー当日は5人の学生が参加して

2011年度みやぎ県民大学「石巻専修大学開放講座」

テーマ「復興の道標」
【演題・講師】▽9/22「震災の試練、されど心の絆の復活を目指して」渡邊剛(石巻校友会長、元理工学部教授)▽9/29「牡鹿のシカ、小国のクマ、そして、ヒトの骨の未来」土屋剛(理工学部教授)▽10/6「学びこそ復興だ!」伊藤健宏(経営学部准教授)▽10/13「特許による企業の再生」梶谷裕敬(理工学部教授)▽10/20「復興における観光」丸岡泰(経営学部准教授)▽10/27「石巻専修大学復興共生プロジェクトの現状報告」若月昇(理工学部教授)【時間】19時〜20時30分【会場】4号館4101教室【受講料】無料【問い合わせ】石巻専修大学開放センター 0225(22)7716 Eメール kaiho@isenshu-u.ac.jp

講演会のお知らせ

青少年のための科学の祭典2011
みらいへの道標 (石巻大会)
▷開催日=8/20(土)、21(日) 9:30~
▷会場=宮城県長使節船ミュージアム(サンファン館 展望棟)